



共催：在沖米国総領事館・琉球大学

後援：沖縄県教育委員会



日米エキスパートに聞く

# 理系博士の可能性と未来

博士号取得者を増やすための取り組みや、研究者らがどのような分野で活躍できるのか等々、日米における現状や課題について、両国のエキスパートが対談形式でひも解きます。



クリステン・クリノフスキー博士

米国科学技術政策研究所 所長  
ホワイトハウスの科学技術政策局や米国衛生研究所などに対し国内外における科学技術問題に関する分析を提供。ナノテクノロジーなど、研究管理を専門とする。ロチェスター大学にて化学の博士号と修士号を取得し、カンシラス大学にて化学の優等学士号を取得。



教授 小西 照子 博士

ジェンダー協働推進室長  
農学部 評議員・副学部長  
京都大学にて博士号を取得後、ミシガン州立大学や森林総合研究所でのポスドク研究員を経て、琉球大学に着任。植物や海藻の生理学、糖質化学を専門とし、近年は、オキナワモズクに含まれるフコイダンなど、植物や海藻に含まれる機能性多糖の研究を行っている。

2024 **2.29** (木) **18時半～20時** (開場：18時)

琉球大学 文系講義棟 114中講義室

参加無料

定員70名・日英同時通訳付

お問い合わせ

NahaPAS@state.gov

学生大歓迎！！  
どなたでも  
ご参加頂けます！

事前申込

